

平成 26 年 11 月 25 日  
大阪市交通局

### 市営地下鉄における冬の節電対策について

今冬の電力需給の見通しとして、関西電力管内においては、厳寒となるリスクや直近の経済成長の伸び、企業や家庭における節電の定着などを織り込んだ上で、電力の安定供給に最低限必要とされる予備率 3 % が確保できる見通しです。しかし、予備率 3 % では発電所トラブルなどによる突然の電源脱落や気温の急変動に対応することが困難な状況です。そのため、安心して安定的な需給状況を維持するため、今冬についても、交通局では次のとおり、お客さまサービスへの影響を避けつつ節電対策に取り組めます。

### 市営地下鉄における節電の取組み

実施期間：平成 26 年 12 月 1 日(月)～平成 27 年 3 月 31 日(火)

区分	取組内容	1 時間あたりの削減電力(kW)
駅施設	・ 駅構内の照明の一部取り外し(終日) ・ 省エネ型照明器具(Hf 蛍光灯、LED 蛍光灯)に更新	1,150
	・ 自動販売機ディスプレイの消灯(9 時～21 時)	50
	・ 換気機の一時的停止(9 時～21 時)	1,180
車両	・ 全列車省エネ車両による運行 ・ 車内暖房の調整	1,050
その他	・ 列車の回生エネルギーの蓄電による省エネ	290
合 計		3,720

平成 22 年度の冬における夕方ラッシュ時間帯の使用最大電力(約 75,000kW)の約 4 % の削減を目指します。

今後とも市営交通事業に対しまして、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。